

患者さんの理想に限りなく近づけたとき 治療は、技術を超えてアートへ昇華する



アートデンタルクリニック鷺沼

横山 祐紀 院長

神奈川県出身 昭和大学歯学部卒業
医療の本質は「愛と信頼」です。「愛」とは、患者さんのお考えや優先したいことをじっくり伺い、我が事のように受け止めること。「信頼」とは、ご希望がなるべくかなえられるべく、最新の医療技術・環境を整えることだと考えています。
日本口腔インプラント学会 / 日本口腔外科学会 / 日本審美歯学会 /
日本顎咬合学会 / International Team For Implantology メンバー /
歯周組織再生誘導法認定医

治療に対する評価は 患者さんが決めるもの

患者さんの喜んだ顔って、いいですよね。もっと勉強しなきゃ、もっとできることを増やさなくちゃ、そういう励まされます。学生時代は書物が相手。教科書が笑うことなんてありませんから、現場へ出て、やっと手応えを見つけられたと実感しています。

あれは肺がんにかかった患者さんを診たときのこと。歯の状態が良くなるにつれ、その方の体重が増えてきたのです。こんな自分でも人様の一生へ携わっていけるのかと、向上心に火が付きました。

みなさんの笑顔を満足のバロメーターだとすれば、その前提には相互理解が欠かせません。毎週通って来られる方もいらっしゃいますから、患者さんというより「知り合い」だと思って、その方のために愛を注ぎます。

お口の中に限らず体や栄養学のこと、現状だけではなくて将来のこと、そんなふうに観点を広げながら治療を進めていくと、どうしても1時間



や2時間はかかってしまいます。しかし、それが当院の方針です。残念ながら、愛には量的な上限があるようですね。

すべての治療は 予防へつながる

予防歯科というと、歯をクリーニングするようなイメージがあるものの、私は必ずしもそう考えていました。施した治療の効果が長持ちし、

なるべく再治療という事態を起こさないようにすることも予防歯科に含まれるのではないかでしょうか。そのためにも「治療の精密さ」に留意し、マイクロスコープをあらゆる場面で多用しています。

歯科医院は今、治療する場から予防する場へ変わろうとしています。それはそれで好ましいことですが、「自分の口や体がどういう状況なのかを知る場」としても活用いただきたいですね。歯の汚れを取るだけでなく、どうして汚れが付いてしまったのか。生活習慣などのバックグラウンドが理解できて初めて、やっとその先に予防が見えてくる。

かつては、インプラントをかなり研究してきました。しかし、あるとき思ったのです。これは「歯が抜けてしまった場合の治療方法」じゃないかと。歯科医師なら、歯が失われないような工夫・努力をすべきです。むしろ、インプラント手術数を減らしていくことが、地域の歯科予防に貢献できている証といえるのではな

いでしょうか。

来院者の半分以上が紹介 全国から川崎を目指して

街のクリニックでありながら、大学病院のような専門性と多角性を持ち合わせている。そんな歯科医院を目指しています。例えば歯周病の治療に効果的なPDT治療法。これは、特殊なジェルと光のエネルギーで歯周ポケットを殺菌していく、化学的な除菌方法です。スケーリングのような物理的な清掃方法だけでは、おのずと限度がありますからね。

ただし、腕自慢、技術自慢をするつもりはありません。核にあるのは、人間関係の透明さだと思います。患者さんとは、治療を通したつなが



アートデンタルクリニック鷺沼

院長 横山 祐紀

〒216-0004 神奈川県川崎市宮前区鷺沼1-23-7 le phare 003号室
東急田園都市線「鷺沼」駅から徒歩約7分

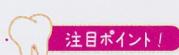
- TEL : 044-789-9923
- 休診日 : 水・日 (第2・4・祝)
- 診療内容 : 一般歯科 / 小児歯科 / 歯科口腔外科 / 矯正歯科 / 精密歯科診療 / 審美美容歯科 / 歯周病・歯周病形成外科 / インプラント / 管治療 / ホワイトニング

URL <http://www.art-dent.jp/>

掲載情報は編集時のものです。詳細・最新情報は各医院までご確認ください。 インプラント治療は保険適用外の自由診療です。治療費は1歯40万~45万円(税別)。

りだけではなく、プライベートなことや仕事の内容も共有したいと願っています。そうすることで1人ひとりに合わせた「快適な」治療が見えてくるのではないかでしょうか。医師と話すのがどうしても苦手なら、スタッフや歯科衛生士とコミュニケーションを図ってみてください。

おかげさまで、こうした姿勢を評価していただいたのか、地方からわざわざ泊まりがけで来院される方もいらっしゃいます。歯医者は嫌う理由を作っているのは歯医者だけ。同様に、喜んでいただける理由を作れるのも歯医者だけ。私の場合、その原動力はみなさんの笑顔です。



非抜歯治療・非抜髓治療への取り組み

患者さんからのご要望で多いのは、「何とか歯を抜かないで治療できないか」という声です。そこで当院では、歯を残す非抜歯治療と、歯の神経を切除しない非抜髓治療をご用意しています。非抜歯治療は、歯の奥部で重度のむし歯が発症していたり、治療済みの歯が割れてしまったりしてケースに有効です。歯茎を少し下げて埋もれてしまった歯部を表出させる歯冠延長術(クラウンレンジングスニグ法)や、歯部を根っこごと持ち上げて施術するエクストリュージョン法などを用います。一方、非抜髓治療では、主にMTA療法を採用しています。MTAセメントを使用して、神経が露出した場合は歯髄を保存したり、露出していない場合でも保護や鎮静します。もちろん、すべての症例に適用できるとは限りません。しかし、「抜く」ということに対して抵抗があり、それが嫌で症状を放置しておくのも考え方の一つ。重症化する前なら、より、治療の選択肢に幅が持てるでしょう。ぜひ一度、同院で診察してみませんか。



ぬくもりの感じられる暖色系の照明を多用した院内